

要申込
参加費無料



食物アレルギー 2025

地域で考える防災オンライン ～薬の備蓄と災害時の知恵～

いつ起こるかわからない災害。ようやく助かっても、避難所などで、食に命を脅かされる人がいます。食物アレルギー有病率は年々増加傾向にあります。いざとなった時、頼りになるのは、知識のある大人です。少しの配慮で、食物アレルギーだけでなく、みんなに優しい防災ができるんです。



2026年

※ネット環境が必要です。(通信費参加者負担)

日時

1/17

(土) ～録画配信 3/31(火)

YouTube限定配信

第1部13:00～15:00(講演) 第2部15:00～16:00(備蓄品紹介)

食物アレルギーのある方だけでなく、地域の危機管理課、災害支援団体など、防災にかかわる方のご参加お待ちしております

第1部 講演



兵庫医科大学 危機管理医学講座 特任助教
日本災害医療薬剤師学会 会長 渡邊暁洋 先生
前半:「過去の災害時のお薬供給体制について」
後半:「災害時にもお薬を入手するためには」



小児アレルギーデューケーター
株式会社三浦薬局 代表取締役 三浦哲也 先生
「お薬のローリングストックについて」

一般社団法人LFA Japan 代表理事
大森真友子
「当事者・保護者視点での備蓄について」

第2部は
備蓄品の
すすめ



※事前に皆さまから頂いた質問などに回答をいただきながら進行します。

今年のサブテーマは、お薬です。食物アレルギーがあると、不安の多くは食料が手に入らないこと
アナフィラキシーをおこすこと、そしてお薬が手に入らないことがあげられます。
実際にどうしたらいいかわからないままになっていませんか？緊急時の薬、日々飲む必要がある薬
いざという時に慌てないように、実はなんとなくしか知らないこと、なくしておきませんか。

お申込み・お問合せは

当法人ホームページ: <http://lfajp.com/>

主催: 一般社団法人LFA Japan 協力: LFA食物アレルギーと共に生きる会

後援: 厚生労働省・農林水産省・大阪府・茨木市

助成: 真如苑市民防災・減災活動公募助成助成



申込QRコード

要申込
参加費無料



食物アレルギー 2025

地域で考える防災オンライン ～薬の備蓄と災害時の知恵～

いつ起こるかわからない災害。ようやく助かっても、避難所などで、食に命を脅かされる人がいます。食物アレルギー有病率は年々増加傾向にあります。いざとなった時、頼りになるのは、知識のある大人です。少しの配慮で、食物アレルギーだけでなく、みんなに優しい防災ができるんです。



2026年

YouTube限定配信

※ネット環境が必要です。(通信費参加者負担)

申込締切
3/30

配信
期間

1/17(土)～3/31(火)

第1部13:00～15:15(講演) 第2部15:15～16:30(備蓄品紹介)

食物アレルギーのある方だけでなく、地域の危機管理課、災害支援団体など、防災にかかわる方のご参加お待ちしております



第1部 講演

兵庫医科大学 危機管理医学講座 特任助教
日本災害医療薬剤師学会 会長 渡邊暁洋 先生
前半:「過去の災害時のお薬供給体制について」
後半:「災害時にもお薬を入手するためには」



小児アレルギーデューケーター
株式会社三浦薬局 代表取締役 三浦哲也 先生
「お薬のローリングストックについて」

一般社団法人LFA Japan 代表理事
大森真友子
「当事者・保護者視点での備蓄について」

第2部は
備蓄品の
すすめ



※事前に皆さまから頂いた質問などに回答をいただきながら進行します。

今年のサブテーマは、お薬です。食物アレルギーがあると、不安の多くは食料が手に入らないこと
アナフィラキシーをおこすこと、そしてお薬が手に入らないことがあげられます。
実際にどうしたらいいかわからないままになっていませんか？緊急時の薬、日々飲む必要がある薬
いざという時に慌てないように、実はなんとなくしか知らないこと、なくしておきませんか。

お申込み・お問合せは

当法人ホームページ: <http://lfajp.com/>

主催: 一般社団法人LFA Japan 協力: LFA食物アレルギーと共に生きる会

後援: 厚生労働省・農林水産省・大阪府・茨木市

助成: 真如苑市民防災・減災活動公募助成



申込QRコード